

# ☆キャンプファイヤー準備☆

## 活動場所

<つどいの広場>



<運動広場>



<キャンプ広場>



時間・・・16時30分から

### 1.丸太・薪を取りに行く

- ①活動場所(つどいの広場・運動広場・キャンプ広場)に集合後、職員と一緒に丸太(6本)、薪の束(4束)を取りに行く。
- ②丸太を選ぶ時は、なるべく同じ太さのものを選ぶようにする。
- ③選ぶ丸太・薪は、一輪車を使って運ぶ。  
→係の児童・生徒の人数が多い場合は、手で持って行っても良い。

### 2.井桁を組む

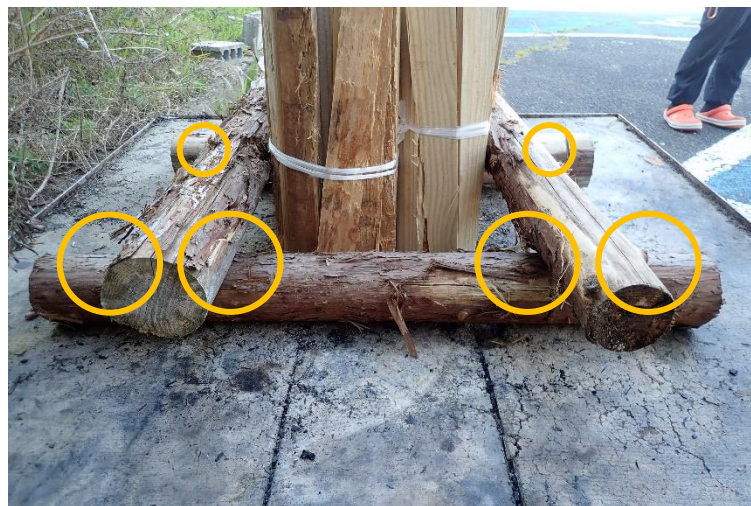
- ①4束ある薪の束を1束残し、3束を中心に置く。



- ②中心に置いた薪の束を囲みながら、丸太を2本ずつ平行に組んでいく。

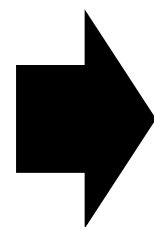


丸太が転がらないように内側、外側に小石をはさむ。



③丸太を固定させたら、薪の束と丸太の間に残っている薪の束(1束)を差し込む。

③残りの薪1束を、薪の束(3束)と丸太の間の隙間に差し込む。(薪を7本残しておく)



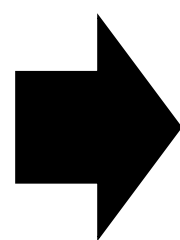
④井桁の中心に平らな薪を4、5枚並べ、テーブルを作る。

④井桁の中心に薪を4本平らに並べる。



⑤並べた平らな薪の上に、トップの部分の骨組みを作る。

⑤薪3本と薪を束ねていた帯を使って骨組みを作る。☆完成！！☆



※つどいの広場で行う場合はタベのつどいがあるので、準備はスロープ横で行います。タベのつどい終了後、活動開始までにセンターサークルへ台車ごと移動してください。

### 3. トーチ係(火の守係)にトーチの持ち方を確認する

① トーチは両手でしっかり持ち、体から離して持つ。

① トーチの先端を斜め上に向け、体から離して、両手で持つ。※トーチの先端を真上に向けたり、下に向けたりしない。

② 火がついた状態で歩くときは、自分の方に火が流れてくるので、歩く速さに注意する。

② トーチに火をつけた後は、ゆっくり歩く。(自分の方に火が向かってくる。)

③ トーチの持ち方は先端が斜め上を向くように持つ。(限りなく横向きを持つ)(剣道の竹刀を持つイメージ)

※トーチの先端を真上に向けたり、下に向けたりしないこと。



### 4. 点火の仕方を確認する

① トーチの頭を斜め上に向けたまま腰を下ろし、井桁のテーブル部分に立てかける。

② 立てかけたトーチをそのままにしてその場から離れる。(トーチごと燃やす)



トーチを慎重においてできるだけ素早くその場をはなれてね。

### 5. トーチを灯油につける

事務室に声をかける

① キャンプファイヤーが始まる15分頃前にトーチの先端部分を灯油バケツに5秒ほど付け、外に出し灯油をきる。(※つけたままにしない)

② 布部分を下にして、立てかけておく。



残った灯油は井桁本体にかける



## 6.片付けの確認(つどいの広場、運動広場で行った場合)

- ①活動終了後、各活動場所にある水道ホースで煙が出なくなるまで消火する。  
→消火後は、事務所に消火したことを報告する。
- ②最終的な片付けは、朝のつどいの前までに終わらせておく。
- ③燃え残り(丸太等)及び灰は指定の場所まで、一輪車とシャベルなどの道具を使って運び、処理をする。
  - ・丸太の燃え残り等 → 丸太置き場の向かい側
  - ・灰 → キャンプ広場のファイヤーサークル→一輪車やシャベルなどは元の場所に戻す。



### <片付け用道具>

- ・一輪車
- ・シャベル
- ・火ばさみ
- ・ちりとり
- ・ほうき